

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



豊里

ひよこライダーが全力で疾走

「第2回ひよこライダーズカップ」(豊里コミュニティ推進協議会豊里地域づくり部会主催、佐々木伸雄部会長)は11月23日、豊里公民館駐車場で開かれ、2から6歳までの未就学児19人のひよこライダーが力走しました。
レースは、会場に設置された140mの特設コースを、足で蹴って進む「ランニングバイク」に乗って年齢別に競いました。ひよこライダーたちは、家族からの大声援の中、懸命に地面を蹴りながら、元気いっぱいコースを駆け抜けました。

姉妹都市の入善を駆け抜ける

「第27回扇状地マラソンinにゅうぜん」(富山県入善町主催)は11月17日、富山県入善町で開かれ、米山町内の小中学生と西郷小学校の児童・生徒16人が参加しました。
マラソン大会には、姉妹都市交流事業の一環として毎年参加。小学生が3キロ、中学生が5キロの部に出場し、全員完走しました。翌日は、入善町立飯野小学校を訪問。全校児童からおもてなしを受けたほか、体を使ったゲームなどで交流しながら絆を強めました。



米山



迫

声援を背に日頃の成果を発揮

「新田剣道祭」(新田剣友会ほか主催)は10月20日、新田小学校体育館で開かれ、新田小・中学生や卒業生など35人が、交流しながら練習の成果を競いました。
剣道祭は、剣道の振興と地域の親睦を深めることが目的。剣道体験、居合演武、合同稽古、紅白戦が実施され、体験会では剣道の基本動作を学び、紅白戦では保護者から大きな声援が送られました。試合は手に汗握る熱戦で、会場は大いに盛り上がり、世代を超えて親睦を深めました。



石越

いしこしの魅力まるごと発信

「まるごといしこしまつり」(同実行委員会主催、工藤貞夫実行委員長)は11月2、3の両日、石越総合運動公園、石越公民館、石越体育センターで開かれ、約2千人が来場しました。
まつりのメインである3日には、石越小・中学生による吹奏楽演奏、盆栽や手芸、写真などを展示する秋の展示会、チャリティーバザーなど、地域住民によるイベントが多く催され、会場はにぎわいを見せていました。

火災が多くなる季節に備える

「登米幼稚園・前小路町内会消防訓練」(登米幼稚園、前小路町内会主催)は11月19日、登米幼稚園で開かれ、園児と地域住民40人が参加しました。
消防訓練は、空気が乾燥して火災が多くなる冬の季節に、火災時の安全な避難経路の確保や地域と幼稚園の連携を強化することが目的。参加者は、避難訓練、消火訓練、煙体験、心肺蘇生法の訓練などに取り組み、連携を確認しながら防火への意識を新たにしました。



登米

身近な材料使い作って遊ぼう

「作って遊ぼう」(青少年のための登米市民会議南方支部主催、鈴木正俊会長)は11月16日、南方農村環境改善センターで開かれ、南方地区の園児・児童および保護者が参加しました。
作って遊ぼうは、身近にある材料を利用して、自分の手で遊び道具などを作り、物作りを通して好奇心を高めることが目的。参加者は、松ぼっくりのクリスマスツリーやバルーンアートなどを作り、物作りの楽しさを体験しました。



南方



東和

みんなで登米っぺし交通事故

秋の交通安全キャンペーン「サンライズ作戦」(登米地区交通安全協会、南三陸地区交通安全協会主催)が11月7日、道の駅三滝堂で開かれました。
キャンペーンでは、登米市や南三陸町などの関係者70人が、交通安全を呼び掛けました。道の駅を訪れたドライバーは、啓発チラシ、登米市産ササニシキや南三陸地区交通安全協会女性部のメンバーが交通安全の願いを込めて手作りしたタコのマスコットを受け取り、安全運転を誓いました。



津山

交通死亡事故ゼロ4千日達成

津山地区の「交通死亡事故抑止功労表彰式」は11月21日、津山総合支所会議室で開かれ、登米市交通安全対策協議会と登米警察署から津山地域振興会(堀田耕平会長)に褒状が授与されました。
同地区は、2008年12月から交通死亡事故ゼロを継続し、19年11月20日で4千日を達成。受賞者挨拶で堀田会長は「これからも地域の皆さんとともに記録を更新していきたい」と抱負を述べました。

物産展で市の魅力と味覚PR

「中田の物産展」(中田町都市農村交流促進協議会主催、佐藤芳之会長)が11月10、17の両日、神奈川県横浜市と東京都葛飾区でそれぞれ開かれました。
物産展は、都市と農村の交流促進を目的に、各開催地の地域行事と合わせて毎年開催しています。中田町産の新鮮な野菜やリンゴ、油麩など、どれも大好評で、あっという間に完売。会場では「油麩入りはっと汁」も振る舞われ、来場者は登米市の郷土料理に舌鼓を打っていました。



中田